

文化施設の大規模改修事業について

横浜美術館、横浜みなとみらいホール及び関内ホールの3館は、施設や設備の老朽化が進んでおり、長寿命化を図るために大規模改修が必要です。

そのため、それぞれの施設について対応状況を報告します。

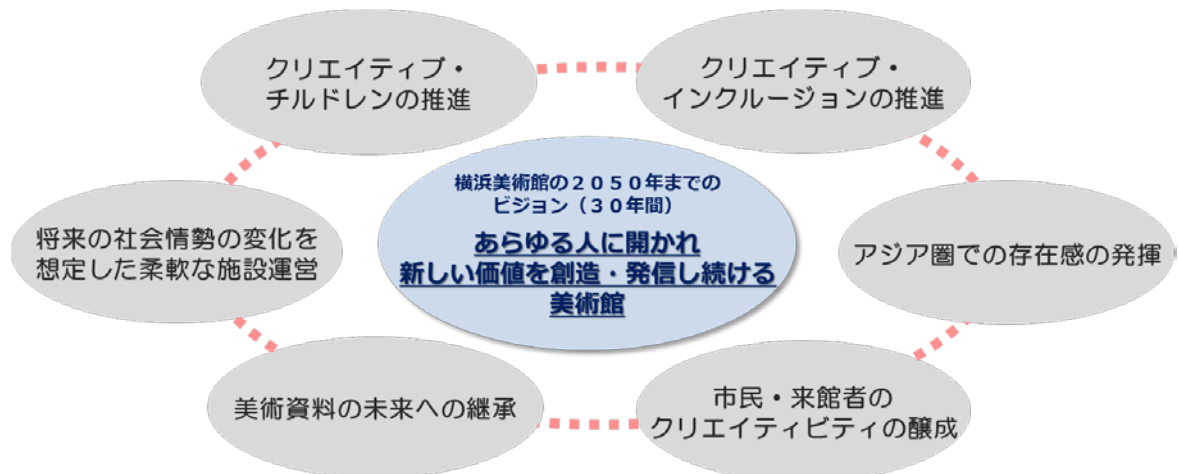
1 横浜美術館

(1) 基本計画検討状況

ア 現状分析と課題整理

- ・美術館運営上重要である空調等の設備機器の老朽化
- ・高齢者、障害者等のための設備機能が不十分
- ・今後も美術資料を継続して収集することによる将来的な収蔵スペースの狭隘化

イ 美術館の理念を踏まえた今後の果たすべき役割



ウ 主な改修内容

- (ア) 施設及び設備の更新（長寿命化対策）
- (イ) バリアフリー対応
- (ウ) 収蔵庫の拡張

エ 事業手法

設計と施工を分割して発注する方式（通常の方式）

(2) 今後の想定スケジュール

基本計画を1月末までにまとめ、平成30年度に基本設計に着手する予定です。

年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度	H34 年度	H35 年度
内容	基本計画	基本設計	実施設計	工事発注 工事	工事	工事	リニューアル オープン

2 横浜みなとみらいホール

(1) 横浜市公共建築物天井脱落対策事業計画

上記計画に基づき、施設内の大ホール、小ホール及びホワイエは平成 34 年度までに天井脱落対策工事を完了させる必要があります。この工事は長期休館を伴うため、老朽化などの対策工事も合わせて、効率的かつ効果的に実施します。

(2) 主な改修内容

- ア 大ホール、小ホール及びホワイエの天井脱落対策
- イ 施設及び設備の更新（長寿命化対策）
- ウ バリアフリー対応

(3) 今後の想定スケジュール

工事に伴う休館時期は、平成 32 年（2020 年）の東京 2020 オリンピック・パラリンピック閉幕後から約 1 年半を想定しています。

平成 29 年度中に休館時期を周知し、平成 30 年度に基本設計に着手する予定です。

年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度	H34 年度
内容	休館周知	基本設計	実施設計	工事発注 工事	工事	リニューアルオープン

3 横浜市民文化会館関内ホール

(1) 進捗状況

各種工事業者と契約を締結し、11 月 20 日に工事着手しました。

(2) 主な工事内容

- ア 設備更新
電気、空調、衛生等の設備を更新し、長寿命化を図ります。
- イ 大ホールの天井脱落対策
横浜市公共建築物天井脱落対策事業計画に基づき、天井の耐震性を高めます。
- ウ 大ホール客席更新
座席幅を現状の 500 mm から 520 mm に広げるとともに、座席配置を正方配置から千鳥配置に変更して、鑑賞環境の向上を図ります。（座席数：1,102 席⇒1,038 席（予定））
- エ トイレ改修
利用者からの要望が多かったトイレについて、現状の和式を全て洋式化するとともに、便器の個数を増加させることで、利便性の向上を図ります。

(3) 工事期間

工期は平成 30 年 9 月 21 日までとなっており、準備期間を設けまして、9 月末にリニューアルオープンする予定です。

【参考】施設概要

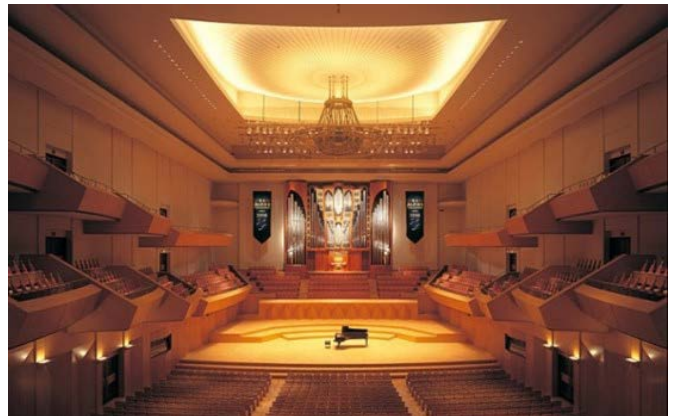
1 横浜美術館

- (1) 所在地
西区みなとみらい三丁目4番1号
- (2) 竣工日
昭和63年3月31日
- (3) 開館日
平成元年11月3日
- (4) 延床面積
26,829 m²
- (5) 構造・規模
鉄骨鉄筋コンクリート造・地上8階建て



2 横浜みなとみらいホール

- (1) 所在地
西区みなとみらい二丁目3番6号
- (2) 竣工日
平成9年6月30日
- (3) 開館日
平成10年5月31日
- (4) 延床面積
18,688 m²
- (5) 構造・規模
鉄骨鉄筋コンクリート造・地上7階地下1階建て



3 横浜市民文化会館関内ホール

- (1) 所在地
中区住吉町四丁目42番1号
- (2) 竣工日
昭和61年8月30日
- (3) 開館日
昭和61年9月27日
- (4) 延床面積
9,112 m²（附属店舗含む）
- (5) 構造・規模
鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）・地上5階地下2建て

